

# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール  
**SGH通信**

No. 27 (平成28年10月11日発行)

SGHクラブ・中学生・ディベート班

## 第6回全国中学生英語ディベートPre大会 「初参加、初の1勝」

2016年9月25日(日)、「第6回全国中学生英語ディベートPre大会」が**中京大学**(名古屋市)で開催されました。本校からは、**SGHクラブ・中学生ディベート班**の3年生4名(◎杉江悟くん、大畠明久くん、安生温大くん、荻野竣右くん)が出場しました。

本大会には、全国から9校、11チームがエントリーしました(中学校では唯一の全国大会です。)本大会に出場した中学校は**強豪ぞろい**で、論題「All Secondary schools in Japan should stop providing lunches for the students (すべての日本の中学校・高等学校は、給食を廃止すべきである。是か非か。)」のもとで、熱戦を繰り広げました。

大会成績は、予選ラウンド3試合で1勝2敗。決勝ラウンドには進出できませんでしたが、**初の1勝**を上げることができました。本校にとって**初めてのディベート大会参加**でしたが、生徒たちは、自信を持って挑戦し、多くの課題を見つけることができました。今後につながる実り多い大会でした。

☆各試合の対戦は以下の通りです。

	対戦校 (○勝 ×負)	
	肯定側	否定側
第1試合	○富士見中学校	×佐野高附属中学校
第2試合	×佐野高附属中学校	○加藤学園暁秀中学校
第3試合	×栄光学園中学校	○佐野高附属中学校



SGHクラブ・中学生ディベート班チーム

### 大畠 明久くん

英語でのディベートは今年から始まったばかりで、英語にも自信がなかったため、自分にできるのかどうかとても不安でした。しかし、先生方や高校生、仲間たちに支えられ、本番では自信をもって立論を発表することができました。目標であった1勝をすることができました。これからもディベートの経験を積み、自分の力を磨いていきたいです。

### 杉江 悟くん

初めての英語ディベート大会だったので、大変緊張しました。相手チームがどのような立論で攻めてくるのか分からず、とても不安でした。しかし、用意しておいたアタックで対応することができました。多くのジャッジの方々に、アドバイスをいただきましたので、次回の大会では、その点を改善していきたいと思います。とてもよい経験でした。

### 荻野 竣右くん

僕たち4名は、名古屋の地で開かれた英語ディベート大会に参加してきました。今回の大会は準備型で、1ヶ月前から準備を進めてきました。準備期間が短かったのですが、当日は十分な力を発揮することができました。相手の英語力が高く、資料の使い方もうまかったため、3戦中1勝しかできませんでした。しかし、決勝戦を観戦し、相手に分かりやすく伝える方法や資料の引用の仕方など、多くのことを学ぶことができたので、心から参加してよかったと感じました。

### 安生 温大くん

初の英語ディベート大会への参加でしたが、大会を通して多くのことを経験することができました。特に印象に残ったことは、「よい話し方」です。参加した生徒の中には、話し方が正確で分かりやすい生徒がたくさんいました。自分も彼らのようになれるよう、練習に励んでいこうと思います。まだまだ始めたばかりで、分からないことだらけですが、今後も、意欲的に英語ディベートに挑戦していきたいです。

